

鈴鹿市立天栄中学校 第5回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和6年1月19日（金）午後4：00～午後5：35

2 場所 天栄中学校被服室

3 委員長あいさつ

- ・1月1日早々大変なことが起こり、驚きと不安を感じた。1月で受験が押し迫る頃である。保護者の不安な気持ちを思い、何ができるかと考えた。東日本大震災時にコーディネーターより「祈ること、心にとどめること」との言葉を頂いた。
- ・今回は、先生方に貴重な話を聞ける機会である。

4 報告・協議事項

（1）令和5年度本校の教育活動を振り返って

○中学校各担当者から、学校関係者評価表中「成果と課題」について説明がなされた。また、項目ごとに質疑応答がなされた。

①研修

②進路

③教育支援

- ・情報共有がしっかりとできるように取り組んだ。
- ・校区での連携を大切にした。
- ・教育相談期間では、一人ひとりの子どもと向き合うことができた。

＊不登校は増えているか？

A 本校1年生は1名、全体としては例年と同様の状況である。

④人権教育

- ・「つながり」を育む取組を行っている。「承認活動」に加えて、しんどいことも本音で伝えあえる仲間づくりとして「つづり作文」に取り組んでいる。
- ・校区連携として、校区人権フォーラムを開催した。2年生代表生徒が司会を担った。「クラスで安心して過ごすことができるには」をテーマに考えることができた。
- ・稲生小とも連携していきたい。

＊稲生小出身者がすべての学年に40%いるが、教育委員会としてどのように考えているか。同じように学習、人権について考えるのであれば連携について考える必要があるのではないか。

＊メディアに関する課題は何か。

＊良いことを、目に見える形で表現する言語化、整理することは、思い返すことができるよい取り組みである。

＊「承認活動」の具体的な取り組みはどのようなものか。

A「天栄アプリシエーターズ」「クラスの中の自分」等である。互いの良さを見つけることができる力を育む。

＊漏れはないか。前に出たくない子、目立ちたくない子はいないか。

A前に出なくてもクラスを支えるはたらきについても評価している。

＊違いを認めながら取り組む、奥の深い取り組み（違うけれど許容しあう、ヒューマニズムにつながる）が必要では。いじめにつながらないように。

A「つづり作文」がつながるのではと考える。

⑤生徒指導

- ・SNSの危険性（メールのやり取り、闇バイト等）について、校区の医院、教育委員会、オンライン配信等、様々な協力を得て啓発した。
- ・現状として、SNSトラブルはあるので、引き続き指導が必要である。
- ・重大事案と認められるいじめはなかったが、いじめ0を目指して早期発見・早期対応していきたい。
- ・いじめへの対応として、発見した段階での事実確認・聞き取り・心のケアを大切にしている。そして、保護者の協力を得ながら指導していく。
- ・人権教育での認め合う取り組みを行っている。
- ・「いじめ防止川柳」を、校区小学校からも募集している。
- ・今年度、保護者からの「ぬくもりの一言」が実施されなかったもので、来年度は復活してほしい。子も保護者も一緒に見守っていきたい
- ＊いじめへの対応について、全国的に「なぜあのようなになるのか？（報告しない等）」とすることがある。

A組織的に、情報共有・早期発見・早期対応している。小さな兆しを見逃さないよう積極的に認知する等、取り組んでいきたい。

＊連絡帳は、子どもの字で、状況がよくわかる。

A保護者の方が見ていただくのは大切である。

＊SNSのトラブル被害に遭った生徒はいるか。

Aグループラインでの行き違い、他校とのつながり（会ったこと、危険な目に遭ったこと）、誹謗中傷、画像等で精神的に傷を負う子もいる。

⑥特別支援教育

- ・一人ひとりに合わせた支援を行っている。
- ・今年度、介助員が増員された。
- ・不登校傾向の生徒もいるが、少しずつ登校時間を増やしている。
- ・保護者との連絡を密にしている。
- ・協力学級との連携が大切である。
- ＊以前は特別支援学級はなかった。支援が必要な生徒が普通学級に在籍していた。ずっと一緒に過ごすことで、健常者と同じ中で同じ時間を過ごすインクルーシブ教育は大切ではないか。生活の面では増やしていったほしい。
- A中学校になると学習内容が難しくなる等があるため、その子に合った内容を考えている。協力学級で過ごすことと個別の学習の両方が大切である。少しずつ交流を増やしていければと考える。
- ＊ディスクレシア用の本がある。学校では実施していないか。

A現状実施していない。協力学級で学習するときは、介助員の支援も受けながら、グ

ループ学習で仲間に訊きながら学習している。

⑦生徒会

- ・生徒が主体となった活動を行っている。
- ・ピンクシャツ運動の取組では、校内放送で意義を伝え、登校時間に挨拶運動を実施した。
- ・市内生徒会研修会に参加した。
- ・体育祭では、生徒会種目について生徒にアンケートを取った。生徒主体の活動につながれた。
- ・文化祭での文化部発表、有志発表を継続していきたい。各委員会の啓発活動、展示などを交えることができればより活性化すると考える。
- ・校則、きまりについて考えたいという、役員の思いを実現する取組や働き掛けを検討していく。

*生徒会役員をどのように選んでいるか

A立会演説会を実施している。体育館で演説を行い、その後、教室で投票・集計する。

*立候補制か。積極的に立候補しているか。

A立候補である。立候補への積極性は、年度にもよる。

*生徒会活動は年々活発化しているか、沈静化しているか。

A基本的には、生徒が主体的に取り組んでいる。

*以前、靴・靴下について、生徒が自分たちで意見を出して変わった。

先輩たちの取組を知ることができれば、今の生徒も取り組むことができるのではないか。

学校には裁量がある、大人の懐の深さを示してほしい。自分たちに、よく生きる責任を任されていることが伝わると良いのではないか。

*（靴・靴下のきまりが変更された経緯を）今の生徒は知っているか。

A一部は知っている。

*（保護者も）知っていたら良かった

*生徒が変えていったことに衝撃を受けた。情報発信し、共有できると良い。

⑧進路

- ・学びを将来の進路につなげるための取組を行っている。

高校授業体験で、進路の意識を強く持たせている。出前講座等で意識づけを行っている。職場体験は有効な活動である。

- ・生徒アンケート「将来夢や希望を持っている」の肯定的回答は高くない。改善の余地がある。

- ・高校面接練習でのコメントは、いろいろな生徒に響くのではないか。

- ・生徒アンケート「人の役に立ちたい」については、進路学習だけでなく、いろいろな取組が必要である。総合的な学習、授業の中に入れていき、系統的な取り組みにしたい。

*否定的回答の人数は？ 3. 5%の生徒が気になる。回答時のメンタル、置かれている環境も影響していると考えられる。回答は「はい・いいえ」か？

A 4 択である。

*上下の質問との関連もあるのではないかな。

A背景は様々だが、背景も見逃さないことが大切だと考える。

*自分の行動が人の役に立っていることに気づいていないのではないかな。自己肯定感が低いのではないかな。

⑩研修

・「つながり」をたいせつにした取組を行っている。

・協働課題を取り入れ、すべての授業でグループでの学び合いを取り入れている。

・教師も協働し、もっと良くしていきたい。

・県外視察を実施し、取り入れていきたいこと等が見つかった。天栄中の協働課題の条件は「やりたい」「できそう」「これもいい」であるが、3つそろった授業は難しい。県外視察を通して、教科による特性もあること、教師も子どもも共通の目標を持つことを学んだ。

・2・3月に「クラスの中の自分」を実施する。クラスの仲間全員にメッセージを書く取組である。生徒の変容につながっている。クラスの締めくくりに生かしたい。

・ICTについては、効果的に活用できる方法を検討していく。

・家庭学習については、校区で「学習の手引き」を作成し共有している。今年度は「グループ学習の大切さ」も伝えている。家庭学習課題の量の多寡が解消できるとよい。

*宿題は、しめきりが重なった時の負担があるのではないかな。教職員の情報共有が必要である。日直が黒板に書いている学校もある。

*通塾についてはどのような感じかな。

A3年生になって通塾率が増えた。それまでは自分で取り組んでいる生徒も多かった。

*ICTを活用した家庭学習の促進は、特定の生徒に向けてか、全体に向けてか。

AChromebookを活用して 全員に課題を出すこともある。

*データのコピペはないかな。

A課題による。

*中3の子どもがいるが、テスト前に課題が出る中で、提出が目的になっている。気持ちが先立ってしまっている。一斉に出ているが、子どもそれぞれのやりたいことがあるのではないかな。自分で計画できる方がよいのではないかな。

A振り返りでのコメントで、子ども自身の気づきが見られる。失敗しながらつかんでほしい。

⑪小中一貫

・校区連携の活性化に取り組んでいる。小学校訪問を実施することにより、学校ごとの子どもの様子や教員の様子を知る機会となっている。稲生小とのつながりの一つとして、今年度より「学びよつながれ！プロジェクト」（入学前宿題を配布し、中学生が中学校生活について説明）を稲生小でも実施する。来年度は、より「顔の見える関係」を築いていきたい。

⑫会議時間の短縮

＊会議時間１時間以内の割合が７２．２％である。以前より下がっているのはなぜか。

Ａ今年度はコロナ明け（５類移行）で、改めて一から試行錯誤して取り組んでいるため、会議時間が長くなっている。

⑬働き方改革

・部活動の地域移行について

＊現場の実態

＊外部への発信の必要性

⑭その他

＊駐車場の件も、（学校運営協議会としての）意見は市教委に届いている。

（３）第７６回卒業証書授与式〔３月７日(木)〕

・詳細については改めてご案内させていただく旨説明がなされた。

次回（第６回）

日時 令和６年２月９日（金）１６：００

場所 天栄中学校被服室